



毎年7月15日～21日は
県民防災週間です！！



参加無料！！

※事前申込み必要(詳しくは裏面をご覧ください)
定員580名(先着順)

県民防災週間2016

シンポジウム

大規模地震に備えて～防災教育について考える～

2016. 7. 22(金)

レクザムホール(香川県県民ホール)

13:30～16:30(12:30開場)

【主催】 香川県、(一財)消防防災科学センター

【共催】 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

サポート高松地下駐車場
(収容駐車台数918台)

台数に限りがありますので
ご注意ください

香川県玉藻町駐車場
(収容駐車台数333台)



挨拶

13:30～13:40

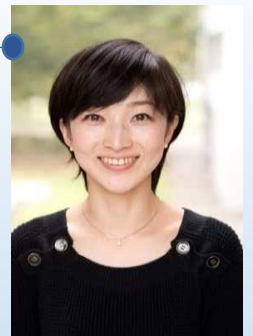
香川県知事 浜田 恵造

(一財)消防防災科学センター理事 益本 圭太郎

講演1

13:40～15:10

「いつか必ず起きる巨大地震から
命を守るために」



大木 聖子

(慶應義塾大学環境情報学部准教授)

講演2

15:25～16:25

「見直そう！わが家の防災
-非常持出より大事な備え-」



玉木 貴

(市民防災ラボ代表)

【写真提供】 東京大学地震研究所
朝日新聞社ヘリから撮影



東日本大震災後、上空からの街並の様子

【写真提供】 玉木 貴 氏



東日本大震災後、津波瓦礫の堆積状況の様子

参加申込み
用紙は裏面です！

- 平成28年4月に発生した熊本地震は、**気象庁の観測史上初めて震度7の揺れを2回**記録し、九州地方に大きな被害をもたらしました。
- 近年、**全国各地で大地震が発生**し、大きな被害をもたらしています。
- また、**南海トラフ地震は今後30年以内に70%程度の確率**で起こるとされています。
- いつ、どこで起きるかわからない地震から尊い生命や貴重な財産を守るために、**今、防災教育及び家庭でできる防災対策**について何ができるのか。
- 今回のシンポジウムを通じて、皆さまとともに**大規模地震への備え**について考えてみたいと思います。

【講演1】13時40分～15時10分

おおき さとこ

大木 聖子 (慶應義塾大学環境情報学部准教授)

「いつか必ず起きる巨大地震から
命を守るために」



＜講師紹介＞

2001年北海道大学理学部地球惑星科学科卒業。2006年東京大学大学院理学系研究科にて博士号を取後、カリフォルニア大学サンディエゴ校スクリプス海洋学研究所にて日本学術振興会海外特別研究員。2008年4月より東京大学地震研究所助教。2013年4月より現職。

【講演2】15時25分～16時25分

たまき たかし

玉木 貴 (市民防災ラボ代表)

「見直そう！わが家の防災
-非常持出より大事な備え-」



＜講師紹介＞

1970年長野県生まれ、神奈川県育ち。1990年の水害経験を機に、従来の防災啓発に疑問を感じ市民防災事情の研究を始める。災害時は被災地で調査支援活動を行う傍ら、平時はその教訓を元に防災普及啓発活動を行っている。2006年市民防災ラボを設立し現職。

★参加申込方法★

参加ご希望の方は、7月15日(金)【必着】までに、はがき、FAX、E-mailのいずれかにより、

①所属、②住所、③氏名及び④電話番号を明記のうえ、お申込ください。

参加決定者には、参加整理券を送付しますので、当日、会場にご持参ください。

なお、申込者数が当日までに定員まで達していない場合には、当日参加も受け付けます。

※お申込の際にご記入いただいた個人情報については、本シンポジウムの運営にのみ使用します。

★参加申込・問合せ先★

〒760-8570(住所記載不要) 香川県危機管理課シンポジウム担当

TEL:087-832-3243 FAX:087-831-8811 E-mail:kikikanri@pref.kagawa.lg.jp

県民防災週間2016シンポジウム (2016.7.22 開催) 参加申込書

香川県危機管理課シンポジウム担当行 (FAX : 087-831-8811)

所属	
住所	(〒 -)
(ふりがな) 氏名	
電話番号	

FAXによる申込みにご利用ください。